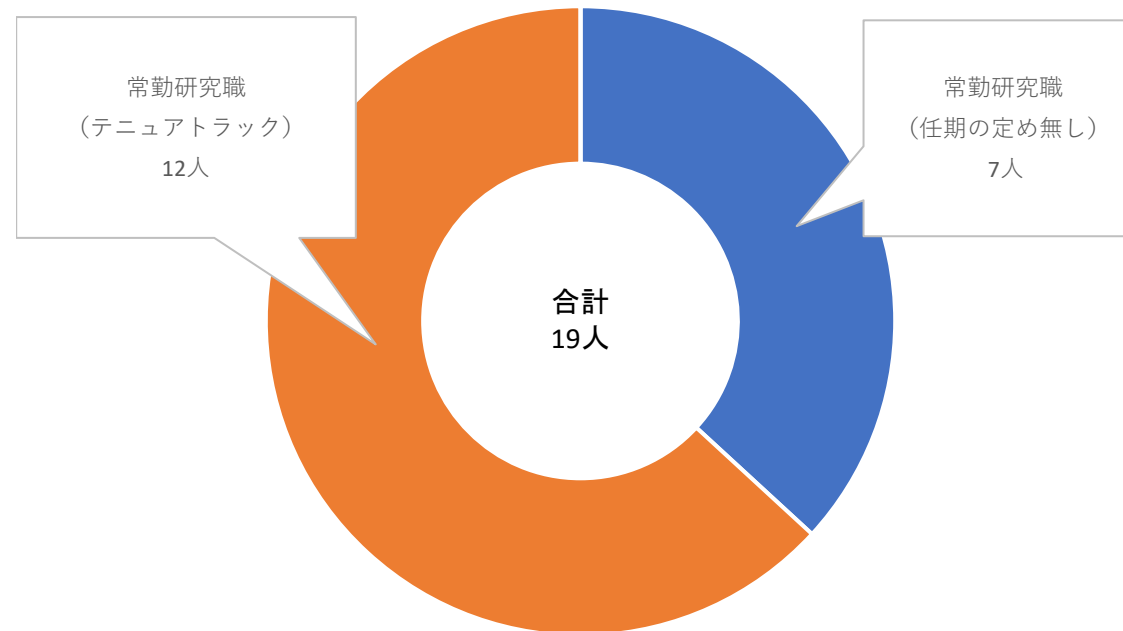


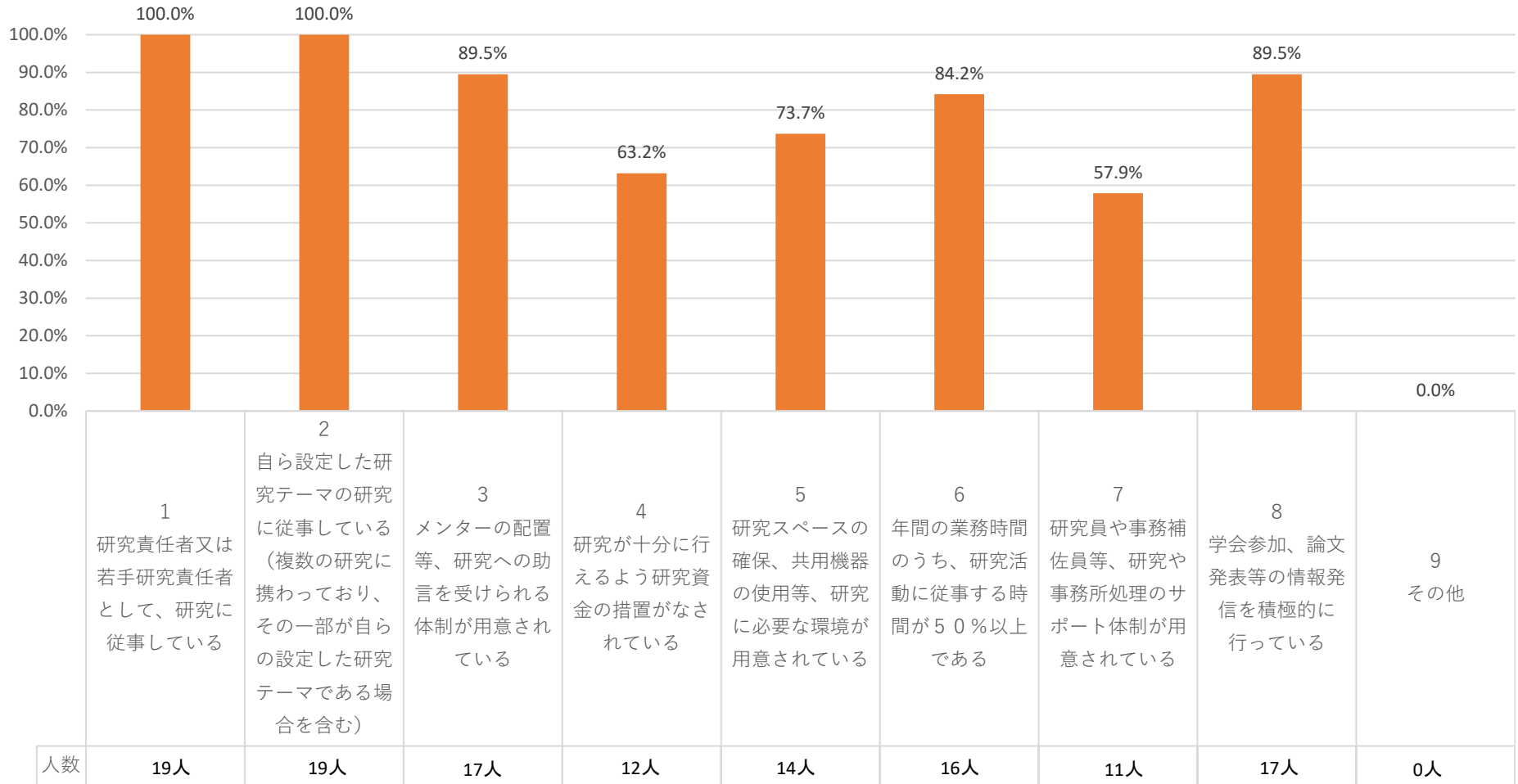
令和3年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員となった者に対して、研究活動状況等について追跡調査を実施

- ・調査実施時期：R7.1月
- ・調査対象期間：R3～R5年度の3年間
- ・調査対象者数：23名、回答者数：19名（回答率 82.6%）

○雇用形態について

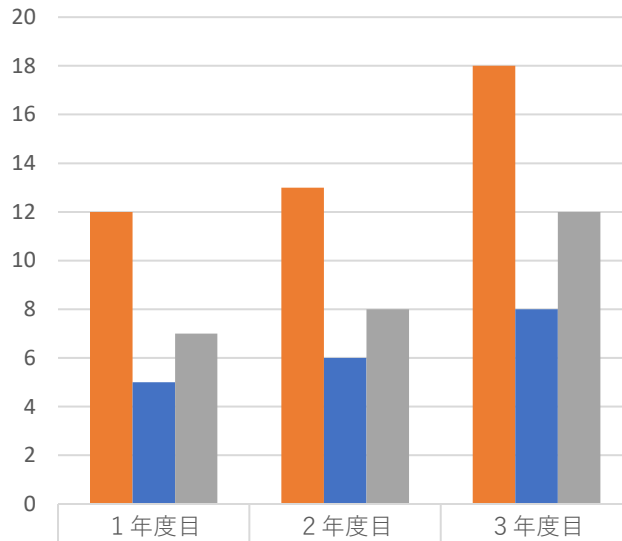


○研究活動状況について



○研究活動実績について（論文発表）

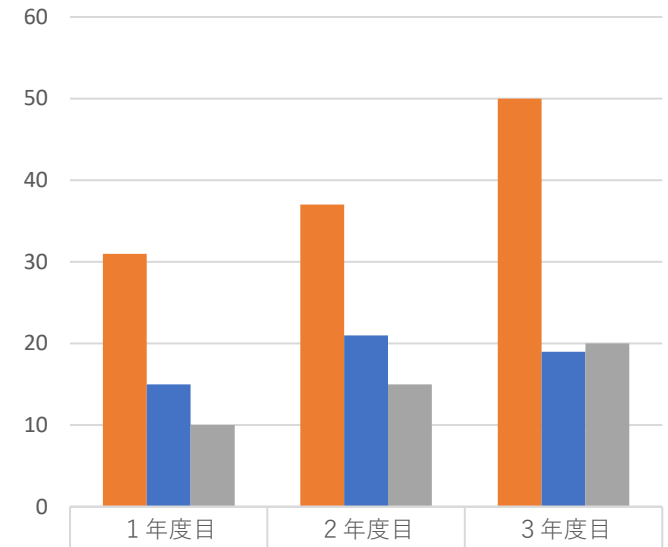
<論文発表人数>



	1年度目	2年度目	3年度目
論文発表人数 (人)	12 (63.2%)	13 (68.4%)	18 (94.7%)
うち、国際共著論文	5	6	8
うち、第一著者・責任著者	7	8	12

※括弧内は回答者数に対する論文発表人数の割合

<論文数>



	1年度目	2年度目	3年度目
論文数 (件)	31	37	50
うち、国際共著論文	15	21	19
うち、第一著者・責任著者	10	15	20

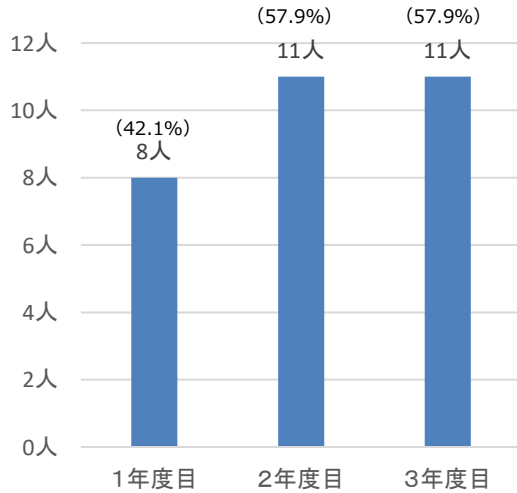
最も学術的価値の高い論文が掲載されたジャーナル名（第一著者・責任著者のみ・3年度目）

○Angewandte Chemie International Edition ○Annalen der Physik ○Chemical Physics Reviews ○Journal of High Energy Physics ○Journal of Human Genetics ○Molecular Therapy Methods & Clinical Development ○Nutrition Reviews ○Physical Review B ○Physical Review Letters ○Physical Review Research ○Transactions of the American Mathematical Society Series B（アルファベット順）

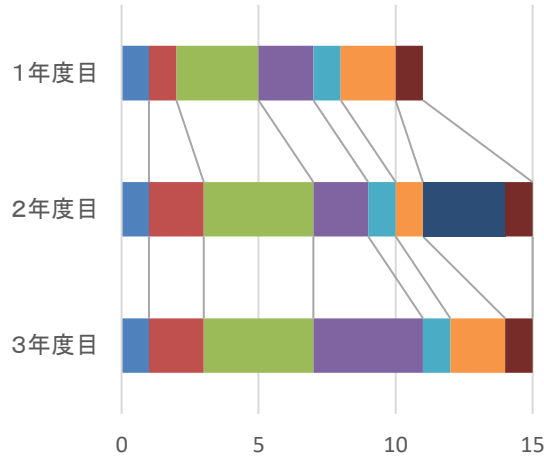
令和6年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和3年度卓越研究員の研究活動状況④）

○研究活動実績について（科研費） ※各年度2件まで回答

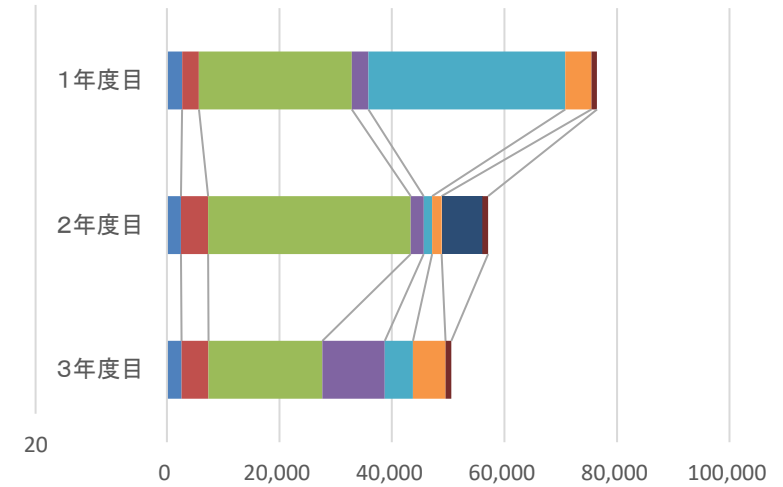
＜獲得人数＞



＜種目別獲得件数（件）＞



＜種目別獲得金額（千円）＞



※括弧内は回答数者に対する科研費獲得人数の割合

	1年度目	2年度目	3年度目
■ 新学術領域研究	1	1	1
■ 学術変革領域研究(A)	1	2	2
■ 基盤研究(B)	3	4	4
■ 基盤研究(C)	2	2	4
■ 挑戦的研究(萌芽)	1	1	1
■ 若手研究	2	1	2
■ 研究活動スタート支援	0	3	0
■ 国際共同研究強化(B)	1	1	1

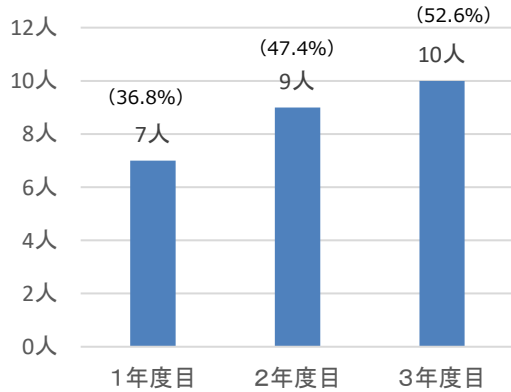
	1年度目	2年度目	3年度目
■ 新学術領域研究	2,700	2,500	2,600
■ 学術変革領域研究(A)	3,000	4,800	4,800
■ 基盤研究(B)	27,170	36,040	20,230
■ 基盤研究(C)	2,950	2,300	11,110
■ 挑戦的研究(萌芽)	35,000	1,500	5,000
■ 若手研究	4,640	1,690	5,810
■ 研究活動スタート支援	0	7,260	0
■ 国際共同研究強化(B)	1,000	1,000	1,000

令和6年度卓越研究員事業の追跡調査結果（令和3年度卓越研究員の研究活動状況⑤）

○研究活動実績について（その他外部資金）

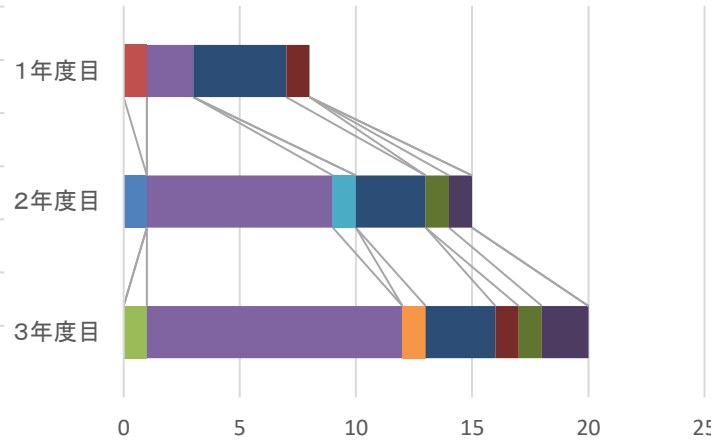
※各年度4件まで回答

＜獲得人数＞

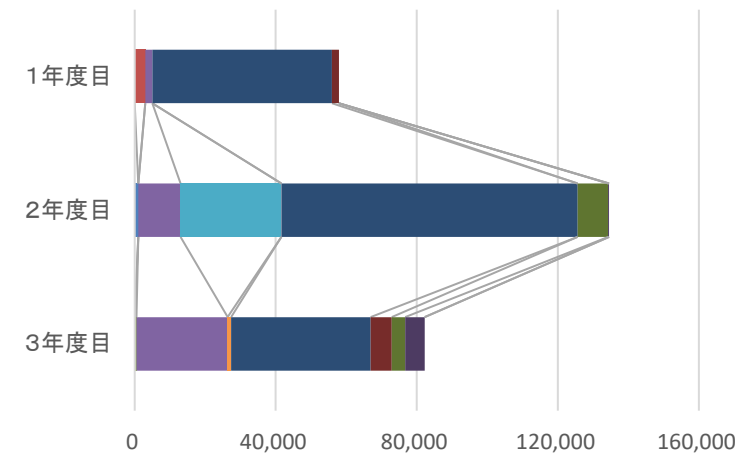


※括弧内は回答者数に対する外部資金獲得人数の割合

＜助成団体別獲得件数（件）＞



＜助成団体別獲得金額（千円）＞



助成団体(3年度目)

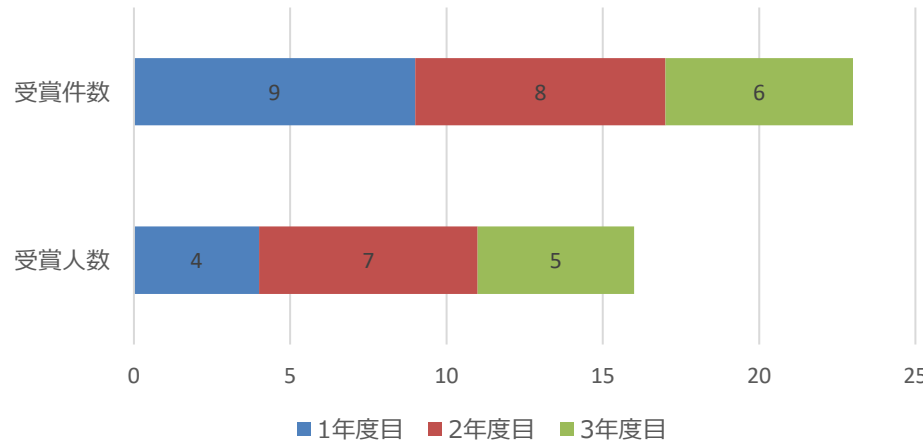
○JST ○NEDO ○AMED ○小野医学研究財団 ○三島海雲自然科学研究財団 ○高橋産業経済研究財団 ○上原記念生命科学財団 ○村田学術振興財団 ○中島記念国際交流財団 ○クリタ水・環境科学振興財団 ○岡山工学振興会 ○日本科学協会 ○日本腎臓病協会 ○有機合成化学協会 ○野口研究所 など

	1年度目	2年度目	3年度目
■株式会社	0	1	0
■一般社団法人	1	0	0
■公益社団法人	0	0	1
■公益財団法人	2	8	11
■官公庁	0	1	0
■特定非営利活動法人	0	0	1
■国立研究開発法人 (JST)	4	3	3
■国立研究開発法人 (AMED)	1	0	1
■国立研究開発法人 (NEDO)	0	1	1
■国立大学等 (所属大学)	0	1	2

	1年度目	2年度目	3年度目
■株式会社	0	1,000	0
■一般社団法人	3,000	0	0
■公益社団法人	0	0	500
■公益財団法人	2,000	12,000	25,870
■官公庁	0	28,600	0
■特定非営利活動法人	0	0	1,000
■国立研究開発法人 (JST)	50,950	84,000	39,500
■国立研究開発法人 (AMED)	1,950	0	6,000
■国立研究開発法人 (NEDO)	0	8,696	3,847
■国立大学等 (所属大学)	0	250	5,500

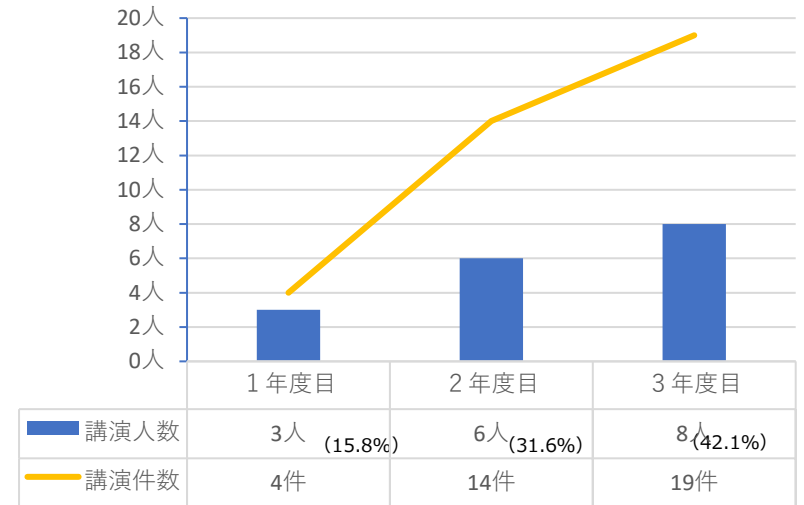
○研究活動実績について（その他）

<受賞歴>



※各年度3件まで回答
※延べ数

<国際会議招待講演>



※括弧内は回答者数に対する講演人数の割合

賞の名称(3年度目)

○若手奨励賞（日本物理学会） ○第18回PCCP Prize（英国王立化学会・日本化学会） ○日本医師会医学研究奨励賞 ○日本化学会東海支部奨励賞 ○有機合成化学協会研究企画賞 ○Best Presenter Award(JAIST International symposium of Nano-Materials for Novel Devices)

その他実績

○特許出願（2名）
○書籍出版（1名）
○共同研究（2名）

○主な意見（改善希望事項等）

	意見分類	主な内容
A	制度改善全般に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に、卓越研究員事業と同様の趣旨を持つ制度の構築を希望する。 ・制度設計が複雑で応募時点では本事業の意義や有効性を十分に理解できなかったため、シンプルになるとより良い。
B	ポスト・当事者間交渉・採用後の処遇等に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の中で、受入先機関における地位向上に繋がるような取組が欲しかった。 ・受入先機関内の縛りが大きい場合、独立した研究環境が難しい。 ・異なる研究分野への異動も視野に入れなければならず、マッチングのハードルが高い。 ・受入先機関との予算措置等のすり合わせが難しい。
C	経費に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・経費の年度繰り越しを認めてほしい。（2件） ・着任初年度の予算について、着任時期によっては短期間で使用する必要があり非効率。（2件） ・経費の支援期間を長くしてほしい。